

製品名: MIC2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13889**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CD99
別名	CD99; MIC2; MIC2X; MIC2Y; CD99 antigen; 12E7; E2 antigen; Protein MIC2; T-cell surface glycoprotein E2; CD antigen CD99
遺伝子 ID	4267.0
SwissProt ID	P14209
免疫原	抗血清はヒト CD99 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

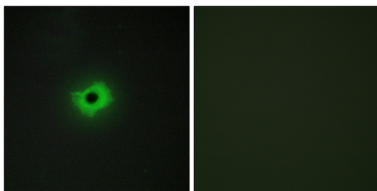
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、白血球遊走、T細胞接着、ガングリオシド GM1 および膜貫通タンパク質輸送、そし

てカスパーゼ非依存性経路による T 細胞死に関与する細胞表面糖タンパク質です。さらに、このタンパク質はアクチン細胞骨格の再編成能を有し、骨肉腫において腫瘍抑制因子として作用する可能性もあります。この遺伝子は X 染色体および Y 染色体の偽常染色体領域に存在し、X 染色体不活性化を免れます。この遺伝子座のすぐ隣に、関連する偽遺伝子が存在します。[RefSeq 提供、2016 年 3 月]、機能: T 細胞接着プロセスに関与。これは赤血球の自発的なロゼット形成に関与しています。、その他:このタンパク質をコードする遺伝子は、X 染色体と Y 染色体の擬似常染色体領域 1 (PAR1) に位置しています。、PTM:広範囲に O 型グリコシル化されています。、類似性:CD99 ファミリーに属します。、

研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;白血球の内皮透過性遊走;

画像データ



CD99 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。